

【基礎知識】

現在完了形を用いて、自分の経験を表現することができる。

【つながり】

文章の構成や接続詞・代名詞等を適切に活用し、相手に分かりやすい地域の名所や史跡などについて紹介文を書くことができる。

【応用・ひろがり】

将来、ホームステイや出張先で写真等を用いて自分の地域の名所や史跡を英語で紹介することができる。

- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 単元名 Program 2 Volcanoes in Japan
- ◇ 単元の目標 地域の名所や史跡などについての紹介文を書き、ALTに紹介することができる。
- ◇ 単元の計画 (全7時間)

学習活動	時数	指導上の留意点
<p>課題の設定 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本を訪れる人が増加している実態があることを知る。 ・自分たちが英語を使って何ができるかを話し合う。 ○海外からの旅行者にとって、ガイドブックに載っていない地域の名所や史跡があることを知る。 ・自分たちが知っている名所や史跡を伝えることに決める。 ・各自が伝えたい場所を選び、ALTに紹介する。 ・各自の紹介文を冊子にし、市の案内所に置いてもらう計画を立てる。 <p>★多くの人に興味・関心をもってもらえるようALTだけでなく、市の案内所に置いてもらう等、広がりのある学習にする。</p>	1	<p>★日本政府観光局の訪日外客数の調査から、海外からの旅行者が急増傾向にある事実を提示し、自分たちの県も訪日人数が急増していることを生徒に知らせるなどして、興味・関心を高めることが大切である。</p> <p>例えば、海外からの旅行者の中には、訪れてみたいと思っている場所が、ガイドブックに載っておらず、困っていることを生徒に伝えることで課題意識をもたせ、自分たちに何ができるかアイデアを出させるなどの展開が考えられる。</p>
<p>情報の収集、整理・分析 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書本文をもとに、紹介文の特徴に気付く。 ・紹介文の文章の構成を知る。 ・写真及び絵を効果的に活用する方法を知る。 ・接続詞・代名詞等が効果的に使用されていることを知る。 ○自分が紹介したい場所を決め、訪れる理由を明確にする。 	3	○生徒自らが、分かりやすい紹介文の工夫に気付くよう、教科書本文を活用する。
<p>まとめ・創造・表現 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紹介文を書く。 ・整理した内容を基にして、辞書を用いて英語で文を書く。 ○相手に分かりやすい紹介文作成の工夫について考える。 ・紹介文が「導入、展開、結び」等、分かりやすい文章の構成となっているか、ペアで確認し合う。 ・適切に代名詞・接続詞等を用いるなど、紹介文の内容が効果的に相手に伝わる文章になっているか、グループで確認し合う。 	2	○ペアやグループで読み合うことで、より分かりやすい紹介文になるようアドバイスさせる。
<p>生徒が書いた紹介文: Have you ever visited Miyajima? Do you know the highest mountain on Miyajima island? The answer is Mt.Misen . Have you ever been to Mt. Misen? On the top of Mt. Misen there is a temple named "Daisein" . It has attracted devoted worshippers since it was founded by Kobo Daishi in 506. The spiritual eternal flame has burned for more than 1200 years since Kobo Daishi lit it as a part of his spiritual training. You can see the sacred fire. And that fire was used as a pilot flame for the "The Flame of Peace"at Hiroshima Peace Memorial Park. Did you know that? So please remember that. Enjoy the serene atmosphere. (110 語)</p>		
<p>実行、振り返り (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○“Enjoy Your Stay”と題した紹介文をALTに伝え、質問に答えるなど、即興的なやりとりをする。 ○紹介文をまとめた冊子をALTにプレゼントする。 ○紹介文を分かりやすく相手に伝えられたか相互評価する。 	1	○ALTに、接続詞・代名詞等を効果的に活用したり、文章の構成を工夫したりして、分かりやすく伝えることができていたか評価させる。

★生徒が英語で紹介した地域や県の名所や史跡を、今後、どのような場面で使えるのかを意識させる。